

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

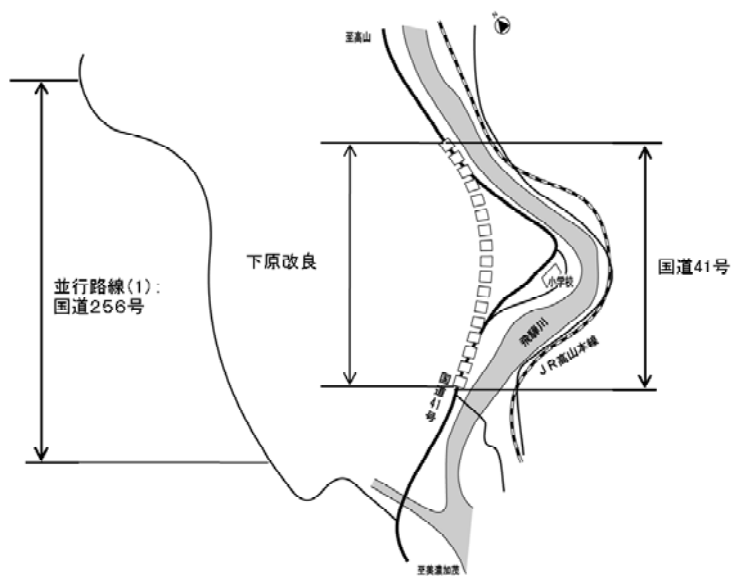
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道41号 <small>しもはら</small> 下原改良	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：岐阜県下呂市金山町下原町 至：岐阜県下呂市金山町中切	延長	1. 1 km		
事業概要 一般国道41号は、名古屋市を起点とし、愛知県犬山市、岐阜県高山市などの主要都市を経て富山市に至る延長約250kmの主要幹線道路である。 下原改良は、落石など危険な箇所を解消し、災害に強い道路機能の確保と、道路線形を改善し交通事故の削減を目的に計画された岐阜県下呂市金山町下原町から岐阜県下呂市金山町中切に至る延長1. 1kmの改良事業です。					
H3年度事業化	（都市計画決定なし）	H13年度用地着手	H19年度工事着手		
全体事業費	37億円	事業進捗率	49%	供用済延長	—km
地域の防災面の課題 ・平成8年度道路防災総点検に基づき、緊急に対策が必要とされた箇所が2箇所存在。 ・平成10年以降土砂崩落など計7回 約400時間の通行止め ・このため、下呂市金山町中切地区では道路災害の度に交通障害が発生し、経済的、社会的損失を被っていることから、安全・安心な暮らしを確保するうえで、災害に強い道路網を構築することが喫緊の課題となっている。					
課題を踏まえた対策・事業内容 ・道路災害による交通障害などが頻発する現道を迂回する別線整備（トンネル） ・現道区間において要防災対策箇所が存在し、急峻な地形のため法面对策などの抜本的な防災対策が困難な状況					
事業の効果等 ○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 （55億円（残事業=55億円）） ○災害による被害の回避 ・災害時の通行止め時における観光損失の減少（10億円） ・災害時の通行止め時における救急医療機関へのアクセスの確保（0.14億円） ・緊急施設（消防署・警察署）からのアクセス時間の短縮により消防・防犯活動の向上が期待。 ○地域住民の不安感の解消 ・災害時の通行止めに対する不安解消（11億円） ・災害時の輸送路確保により災害復旧活動部隊等の支援を確保				費用 ：（残事業）/（事業全体） 21 / 42 億円 〔 事業費：16/37億円 維持管理費：5.4/5.4億円 〕	
関係する地方公共団体等の意見 岐阜県知事の意見： 対応方針（原案）案のとおり、事業の継続について異存ありません。 なお、今後の事業の実施にあたっては、県内における他の道路事業の進捗状況を勘案のうえ、本県への十分な協議を早期にさせていただくとともに、コスト縮減の徹底をお願いします。					
事業評価監視委員会の意見 事業継続が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成20年7月に、東海地方と北陸地方を結ぶ東海北陸自動車道が全線開通。 平成16年3月に、益田郡萩原町・小坂町・下呂町・金山町・馬瀬村が市町村合併により観光都市「下呂市」が誕生。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成19年度に工事着手し、用地進捗率100%、事業進捗率49%となっている。 残事業の内容（トンネル 337m 道路改良 700m 等）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き、平成27年度の完成供用に向けて事業を進める。					
施設の構造や工法の変更等 技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。					
対応方針	事業継続				

対応方針決定の理由

事業の必要性は変化なく、緊急に対策を実施する必要があるため。

事業概要図



- ※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
- ※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。